

認定 NPO 法人マギーズ東京、移転のお知らせ

がんを経験している人、その家族や友人など、がんに影響を受けた

皆さまの居心地さを支える新たな拠点へ



認定 NPO 法人マギーズ東京（東京都江東区、代表理事：佐野 武、以下「マギーズ東京」）は、土地の契約満了により、現在の東京都江東区豊洲より、2026 年 11 月に同区有明へ移転することをお知らせいたします。

11 月以降の相談対応をはじめとした活動再開タイミング、またご利用方法などにつきましては改めてホームページにてご案内いたします。

マギーズ東京 URL：<http://maggiestokyo.org/>

【マギーズ東京移転先概要】

所在地：東京都江東区有明 3-7-26 有明フロンティアビル A 棟 2 階

11 月以降の相談対応をはじめとした、活動の場所の詳細につきましては、後日ホームページにてお知らせいたします。

最新の情報を「ニュース」(<https://maggiestokyo.org/news>)をご確認ください。

引き続き、皆さまのご利用をお待ちしています。

尚、現センターにおける、相談・プログラムは 10 月 20 日をもって一旦、お休みをいたします。オンラインプログラムについては、引き続きご利用いただけます。

詳しくはこちらをご覧ください。(<https://maggiestokyo.org/calendar>)

【移転に関する代表理事 佐野武メッセージ】

マギーズ東京の 10 年間の活動を引き継げる場所を時間をかけて探してきましたが、ようやく皆さまにお知らせできることになりました。少し環境は変わりますが、従来のメンバーが、これまでと同じ「空気」を保ちながら、皆さまとゆっくりした時間を過ごすことができる場所になると確信しています。どうぞご安心してお立ちよりください。」

【マギーズ東京について】

マギーズ東京は、2016 年 10 月東京都江東区豊洲に開設した、がんを経験した人とその家族や友人など、がんに影響を受けるすべての人が、とまどい孤独な時、気軽に訪れて、安心して話せる、また自分の力を取り戻せる「居心地のいい第二の我が家」です。

英国マギーズの創設者で造園家でもあったマギー・K・ジェンクスは、47歳の時に乳がんの診断を受け、その5年後に再発し「余命数ヶ月」と医師に告げられ、「がんとともに生きる人のための空間がほしい」、「あと数ヶ月と告げられても一人の人として自分らしく生きる術はないか」と考えました。そして夫で建築評論家のチャールズ・ジェンクスや、のちに担当看護師として出会ったローラ・リー（現マギーズセンターCEO＝最高経営責任者）とともに、がん直面し悩む本人、家族、友人らが自分を取り戻しサポートを得られる空間の設立を目指し、1996年に「マギーズキャンサーケアリングセンター」がオープンしました。

マギー自身は、その完成を見ずして1995年に亡くなりましたが、その遺志は受け継がれ、現在では英国で27カ所のセンターが運営され、2013年には英国外で初めてとなるセンターが香港に開設され、2016年に東京、そして2019年にはバルセロナにも開設しています。現在も英国内外で、新たなセンター開設に向けての準備が進んでいます。

マギーズでは、がんを経験した人や家族・遺族、医療者などががんの影響を受けるすべての人たちが、がんの種類やステージ、治療に関係なく、予約も必要なくいつでも利用することができます。チャリティで運営されているため、利用は無料です。看護師や心理士と心のことでなく、仕事や子育て、助成金など相談することもできます。グループプログラムではセルフケアを中心とした栄養・運動のほか、グリーフケアなど気持ちを分かち合うプログラムにも参加することができます。のんびりお茶を飲んだり、本を読んだりするなど自分の好きなように過ごしていてもいい第二の我が家です。

新しく移転する場所でも、多くの皆さまに、心地よくご利用いただけるよう準備してまいります。

以 上

【上記に関するお問い合わせ】

認定特定非営利活動法法人マギーズ東京

<https://maggiestokyo.org/contact>

東京都江東区豊洲 6-4-18

TEL. 03-3520-9913